

協議事項22

市長・教育長と子どもたちとの意見交換会について

神戸の子ども居場所フォーラムを受けて開催された「市長・教育長と子どもたちとの意見交換会」について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和6年9月4日提出

神戸市教育委員会事務局

事務局長 高田 純

神戸の子ども居場所フォーラムを受けて開催された 「市長・教育長と子どもたちとの意見交換会」についての報告

1. 開催概要

(1) 小学5・6年生対象

日時 8月19日(月) 11時00分から11時50分

場所 こども本の森 神戸(中央区加納町6丁目1-1)

参加者 市内の小学5・6年生 18名

(2) 中学生対象

日時 8月24日(土) 10時30分から11時20分

場所 アンカー神戸(中央区加納町4丁目2-1 神戸三宮阪急ビル15階)

参加者 市内の中学生 12名

2. 意見交換の主な内容

(1) 小学5・6年生

- ・学校が使っていないときない時に、運動場を開放してほしい。
(教育長) 学校の運動場や体育館が空いている時は、使えるように検討したい。
- ・学校の休み時間に禁止されているサッカーがしたい。
(教育長) なぜ禁止されているのか考えてみてほしい。クリアできる方法が提案できれば、できるようになると思う。児童会で提案してみてもどうか。
- ・学校図書館の本が見つけにくい。検索できる機械を設置してほしい。
(教育長) 学校図書館では本が検索できるようにしていきたい。
- ・公園などを整備してほしい。(ボール遊び禁止の公園を減らす、休憩できる場所をつくる、トイレをきれいに)
(市長) バasketボールやサッカーができる公園を増やしているところ。公園に木陰や屋根などを増やしていきたい。トイレも洋式にしていく。



(2) 中学生

- ・子どもたちが自由に自習できるスペースや遊べるスペースを増やしてほしい。
(市長) 自習できるスペースは図書館やユースステーションなどがあるが、もっと増やしていくつもり。
- ・部活が3年後になくなるのが悲しい。
(教育長) 部活をしていた時間を、すべての子が本当にやりたいことに使えるようにしていく。
- ・子どもでも高齢者でも、ボランティアをしたら金券がもらえる制度を作してほしい。
引きこもりの人の外出機会も増えるし、経済の活性化にもつながる。
(市長) ボランティアをしたらポイントがたまる制度をできるだけ早く実現するようにしていきたい。
- ・不登校の子などに、安心できる居場所が情報提供されるようにしてほしい。
(教育長) 学校やフリースクール以外に行ける場所をつくるのが大切。自習室や図書館、児童館などもある。情報発信の方法は課題と考えている。



3. 今後について

意見交換会で出された子どもたちの意見を踏まえて、市長部局とも連携しながら、子どもが外遊びできる居場所づくり等について具体化を検討していく。